

環境保全効果

～どれだけ環境負荷が削減できたの？～
 宝酒造の環境負荷には、生産工程での燃料、電気の使用や、排出物流でのCO₂の排出などがあります。この表では、設備投資や削減活動による努力によって環境負荷をどれだけ減らせたかをご報告します。なお、緑字決算では、“地球とのやりとり”を考慮して「総量」での比較を行っており、報告目的により区分しています。

(集計範囲：宝酒造単体 対象期間：2005年4月1日～2006年3月31日 基準年：2004年度)

環境保全効果の分類	環境ハ・フォーマット指標	2004年原単位	2005年原単位	単位	2004年度実績	2005年度実績	単位	環境保全効果※ (基準年2004年対比)
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	燃料使用量	3,009	3,379	MJ/kl	1,019	1,123	G J	▲123GJ
	電気使用量	131	141	kWh/kl	44,476	46,925	千kWh	▲3,290千kWh
	用水使用量	12.8	14.6	m ³ /kl	4,332	4,861	千m ³	▲610千m ³
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	生産に伴うCO ₂ 排出量	246	266	kg-CO ₂ /kl	83,236	88,271	t-CO ₂	▲6,608t-CO ₂
	物流に伴うCO ₂ 排出量	58.8	57.5	kg-CO ₂ /kl	19,929	19,106	t-CO ₂	446t-CO ₂
	廃棄物総排出量	12.8	16.8	kg/kl	4,338	5,594	t	1,338t
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	環境配慮製品の販売量	101	95	kl/kl	34,165	31,505	kl	2,017kl
その他の環境保全効果	事務活動電気使用量	6.87	6.69	kWh/kl	2,326	2,223	千kWh	59千kWh
	コピー用紙使用量	27.5	29.1	枚/kl	9,331	9,678	千枚	▲523千枚

※環境保全効果＝2004年の環境負荷量×(2005年生産量÷2004年生産量)－2005年環境負荷量

2005年生産量：332,382kl 2004年生産量：338,761kl

環境保全対策に伴う経済効果

～どれだけコストダウンや収益ができたの？～
 環境活動の主目的は環境負荷低減です。しかし二次的効果として管理費の削減やエコプロダクツを採用することによるコストダウン、販売促進効果などがあります。ただし、社会貢献活動やPR活動などによる販売効果は原因をばっきりと断定することができず、数字に表すのは困難なため計上していません。宝酒造では、リサイクルによって得られた収益や費用削減など「明らかに金額換算できるもの」を効果として公表しています。

(集計範囲：宝酒造単体 対象期間：2005年4月1日～2006年3月31日 単位：千円)

効果の内容	金額	備考
収益	42,571	
生産部門のリサイクルにより得られた収入		
事務部門の省エネルギー活動によるコストダウン	2,060	前年実績からの削減率：1kwh 20円で計算
事務部門のコピー用紙削減活動によるコストダウン	-	前年実績からの削減率：1箱(2,500枚入り)1,500円で計算
全社の事務用品の総購入金額削減活動によるコストダウン	582	前年実績からの削減金額